＜様式1＞

平成 27年 06月 04日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	ツーバイフォー四国の家
グループの名称	グループ「ツーバイフォー四国の家」
直近採択グループ番号 ※過去に地域型ブランド化事業で採択を受けたグループは記入	03-0292-0406

（グループ代表者）

代表者名	小濱　孝彦　代表者印
代表者所属先	大利木材株式会社
代表者構成員番号	Ⅲ-1, Ⅳ-1, Ⅴ-1, Ⅵ-1
代表者所在地	徳島県徳島市津田海岸町7番68号
代表者電話番号	088-662-5505

（グループ事務局）

事務局事業者名	大利木材株式会社
事務局構成員番号	Ⅲ-1, Ⅳ-1, Ⅴ-1, Ⅵ-1
事務局担当者名	桑原　大学　尾方　秀作　印
事務局郵便番号	770-8001
事務局所在地	徳島県徳島市津田海岸町7番68号
事務局電話番号	088-662-5505
事務局FAX	088-663-4050
事務局担当者E-mail	d-kuwahara@dairinet.com

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	ツーバイフォー四国の家
２．グループの名称(必須)	グループ「ツーバイフォー四国の家」
３．直近採択グループ番号(必須)	03-0292-0406
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	四国地区
５．結成年(必須)	2012　年
６．グループ代表者名(必須)	小濱　孝彦
７．グループ代表者の所属先(必須)	大利木材株式会社
８．グループ代表者の構成員番号(必須)	Ⅲ-1, Ⅳ-1, Ⅴ-1, Ⅵ-1
９．グループ代表者所在地(必須)	徳島県徳島市津田海岸町7番68号
１０．グループ代表者電話番号(必須)	088-662-5505
１１．グループ事務局事業者名(必須)	大利木材株式会社
１２．グループ事務局の構成員番号(必須)	Ⅲ-1, Ⅳ-1, Ⅴ-1, Ⅵ-1
１３．グループ事務局担当者名(必須)	桑原　大学　尾方　秀作
１４．グループ事務局郵便番号(必須)	770-8001
１５．グループ事務局所在地(必須)	徳島県徳島市津田海岸町7番68号
１６．グループ事務局電話番号(必須)	088-662-5505
１７．グループ事務局FAX番号(必須)	088-663-4050
１８．グループ事務局担当者E-mail(必須)	d-kuwahara@dairinet.com

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ. 原木供給	0	原木の産地がカナダやアメリカである為、供給者が特定できない。
Ⅱ. 製材・集成材製造・合板製造	0	対象となる地域材が全てカナダやアメリカの製材工場の為、特定できない。
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	2	
Ⅳ. プレカット	5	
Ⅴ. 設計	15	
Ⅵ. 施工	15	
Ⅶ. 省エネルギー設備等の流通	0	
Ⅷ. 木材を扱わない流通	0	
Ⅸ. Ⅰ～Ⅷ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の①、②、③の番号を番号記入欄に記入してください。 ①都道府県の産地認証制度等によるもの ②民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) ③林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	合法木材	カナダ、アメリカ	合法木材認証制度	2	国外

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数（必須）

長寿命型（長期優良住宅）経験工務店＋未経験工務店の合計	107	戸			地域材加算合計	107 戸
うち経験工務店による長期優良住宅　合計	65	戸	うち未経験工務店による長期優良住宅　合計	42	戸	
うち申請が確実	5	戸	うち申請が確実	2	戸	地域材加算（うち申請が確実） 7 戸
うち申請が未確定	60	戸	うち申請が未確定	40	戸	地域材加算（うち申請が未確定） 100 戸
高度省エネ型（認定低炭素住宅）　合計	17	戸	地域材加算合計	17	戸	
うち申請が確実	2	戸	地域材加算（うち申請が確実）	2	戸	
うち申請が未確定	15	戸	地域材加算（うち申請が未確定）	15	戸	
高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）　合計	28	戸	地域材加算合計	28	戸	
うち申請が確実	3	戸	地域材加算（うち申請が確実）	3	戸	
うち申請が未確定	25	戸	地域材加算（うち申請が未確定）	25	戸	

C. 平成２７年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積（優良建築物を供給するグループのみ必須）

優良建築物			
うち申請が確実	0 棟	0 ㎡	
うち申請が未確定	0 棟	0 ㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール　(必須)

全ての事業者に行き渡るよう配分する事が目標ではあるが、前回の地域型事業で消化できない事業者の分がそのまま余ってしまったこともあり、今回は契約ベースで事務局への申し込みが早いものを優先する。しかし最終の結論は、採択された後の配分額が決定された後、事業者との会議で決定することとする。

E. 平成26年度の執行状況（H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須）

長期優良住宅			完了実績見込み	
採択戸数	戸	交付申請戸数	竣工済 戸	竣工予定 戸
木造建築物				
採択棟数	棟	採択床面積	㎡	

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
原木の産地がカナダやアメリカである為、供給者が特定できない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由
対象となる地域材が全てカナダやアメリカの製材工場の為、特定できない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
36	Ⅲ － 1	大利木材株式会社		770-8001	徳島県徳島市津田海岸町７番６８号	088-662-5505
38	Ⅲ － 2	株式会社共栄木材		799-3124	愛媛県伊予市三秋1130-1	089-987-5733
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜様式 2-2・Ⅳ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞ Ⅳ. プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ. プレカット						
36	Ⅳ － 1	大利木材株式会社		770-8001	徳島県徳島市津田海岸町７番６８号	088-662-5505
38	Ⅳ － 2	株式会社共栄木材		799-3124	愛媛県伊予市三秋1130-1	089-987-5733
23	Ⅳ － 6	大日本木材防腐株式会社		455-8680	愛知県名古屋市港区千鳥1丁目3番17号	052-661-1501
37	Ⅳ － 10	株式会社新企ハウス		765-0040	香川県善通寺市与北町644番地1	0877-63-5880
38	Ⅳ － 14	北米産業株式会社		791-0313	愛媛県東温市則之内丙1119番地1	089-966-4468
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ｖ＞

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
36	Ｖ － 1	大利木材株式会社		770-8001	徳島県徳島市津田海岸町7番68号	088-662-5505		
38	Ｖ － 2	株式会社共栄木材		799-3124	愛媛県伊予市三秋1130-1	089-987-5733		
36	Ｖ － 3	鳳建設株式会社		770-8024	徳島県徳島市西須賀町東開38	088-669-2711		
37	Ｖ － 4	デザインリゾート株式会社		761-8073	香川県高松市太田下町2602-3 S-Yビル1E	087-813-7207		
38	Ｖ － 5	株式会社トータルハウジングトップ		791-1106	愛媛県松山市今在家2丁目1-4	089-957-2777		
36	Ｖ － 7	丸浦工業株式会社		778-0004	徳島県三好市池田町シンマチ1466	0883-72-1180		
38	Ｖ － 8	有限会社ヨゴホームズ		791-0113	愛媛県松山市白水台1丁目3-6	089-907-4555		
37	Ｖ － 9	株式会社ダイエイハウス		763-0084	香川県丸亀市飯野町東二599-1	0877-21-4123		
37	Ｖ － 11	株式会社ユーリックホーム		760-0080	香川県高松市木太町3841-5	087-867-9336		
36	Ｖ － 12	井川設計工房株式会社		770-0872	徳島県徳島市北沖洲1丁目9-24	088-664-2170		
38	Ｖ － 13	有限会社住宅建築研究所		790-0042	愛媛県松山市保免中1丁目2-21	089-971-7767		
38	Ｖ － 14	北米産業株式会社		791-0313	愛媛県東温市則之内丙1119番地1	089-966-4468		
38	Ｖ － 15	株式会社真建ホームズ		790-0065	愛媛県松山市宮西1丁目6番3号	089-923-6636		
38	Ｖ － 16	株式会社マミーハウス		799-3111	愛媛県伊予市下吾川2045番地1	089-982-3450		
38	Ｖ － 17	株式会社相中組		799-3111	愛媛県伊予市下吾川2045番地1	089-983-1255		
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅵ-1＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）							○	○
36	Ⅵ － 1	大利木材株式会社		770-8001	徳島県徳島市津田海岸町7番68号	088-662-5505	○	
36	Ⅵ － 3	鳳建設株式会社		770-8024	徳島県徳島市西須賀町東開38	088-669-2711		○
37	Ⅵ － 4	デザインリゾート株式会社		761-8073	香川県高松市太田下町2602-3 S-Yビル1E	087-813-7207		○
38	Ⅵ － 5	株式会社トータルハウジングトップ		791-1106	愛媛県松山市今在家2丁目1-4	089-957-2777		○
23	Ⅵ － 6	大日本木材防腐株式会社		455-8680	愛知県名古屋市港区千鳥1丁目3番17号	052-661-1501		○
36	Ⅵ － 7	丸浦工業株式会社		778-0004	徳島県三好市池田町シンマチ1466	0883-72-1180		○
38	Ⅵ － 8	有限会社ヨゴホームズ		791-0113	愛媛県松山市白水台1丁目3-6	089-907-4555	○	
37	Ⅵ － 9	株式会社ダイエイハウス		763-0084	香川県丸亀市飯野町東二599-1	0877-21-4123	○	
37	Ⅵ － 11	株式会社ユーリックホーム		760-0080	香川県高松市木太町3841-5	087-867-9336		○
36	Ⅵ － 12	井川設計工房株式会社		770-0872	徳島県徳島市北沖洲1丁目9-24	088-664-2170	○	
38	Ⅵ － 13	有限会社住宅建築研究所		790-0042	愛媛県松山市保免中1丁目2-21	089-971-7767	○	
38	Ⅵ － 14	北米産業株式会社		791-0313	愛媛県東温市則之内丙1119番地1	089-966-4468		○
38	Ⅵ － 15	株式会社真建ホームズ		790-0065	愛媛県松山市宮西1丁目6番3号	089-923-6636		○
38	Ⅵ － 16	株式会社マミーハウス		799-3111	愛媛県伊予市下吾川2045番地1	089-982-3450	○	
38	Ⅵ － 17	株式会社相中組		799-3111	愛媛県伊予市下吾川2045番地1	089-983-1255	○	
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							
	Ⅵ －							

県番号	構成員番号	事業者名	平成26年（1月～12月）実績				補助金の活用実績	被災地に該当
Ⅵ．施工-2（長寿命型）			元請の新築住宅供給戸数		うち木造の長期優良住宅			
			H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	○	○
36	Ⅵ － 1	大利木材株式会社	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸		
36	Ⅵ － 3	鳳建設株式会社	23 戸	10 戸	1 戸	0 戸		
37	Ⅵ － 4	デザインリゾート株式会社	2 戸	1 戸	1 戸	0 戸		
38	Ⅵ － 5	株式会社トータルハウジングトップ	8 戸	5 戸	0 戸	0 戸		
23	Ⅵ － 6	大日本木材防腐株式会社	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸		
36	Ⅵ － 7	丸浦工業株式会社	24 戸	20 戸	0 戸	0 戸		
38	Ⅵ － 8	有限会社ヨゴホームズ	5 戸	4 戸	0 戸	0 戸	○	
37	Ⅵ － 9	株式会社ダイエイハウス	59 戸	52 戸	0 戸	0 戸		
37	Ⅵ － 11	株式会社ユーリックホーム	44 戸	45 戸	0 戸	0 戸		
36	Ⅵ － 12	井川設計工房株式会社	26 戸	20 戸	4 戸	2 戸	○	
38	Ⅵ － 13	有限会社住宅建築研究所	10 戸	10 戸	0 戸	1 戸	○	
38	Ⅵ － 14	北米産業株式会社	3 戸	7 戸	0 戸	0 戸		
38	Ⅵ － 15	株式会社真建ホームズ	17 戸	12 戸	0 戸	0 戸		
38	Ⅵ － 16	株式会社マミーハウス	23 戸	20 戸	5 戸	4 戸	○	
38	Ⅵ － 17	株式会社相中組	25 戸	19 戸	1 戸	2 戸	○	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸		

県番号	構成員番号	事業者名	平成26年（1月～12月）実績						補助金の活用実績	被災地に該当
Ⅵ. 施工-3（高度省エネ型）			元請の新築住宅供給戸数		うち木造認定低炭素住宅		うち木造ゼロエネ住宅			
			H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	○	○
36	Ⅵ － 1	大利木材株式会社	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
36	Ⅵ － 3	鳳建設株式会社	23 戸	10 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
37	Ⅵ － 4	デザインリゾート株式会社	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
38	Ⅵ － 5	株式会社トータルハウジングトップ	8 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
23	Ⅵ － 6	大日本木材防腐株式会社	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
36	Ⅵ － 7	丸浦工業株式会社	24 戸	20 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
38	Ⅵ － 8	有限会社ヨゴホームズ	5 戸	4 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
37	Ⅵ － 9	株式会社ダイエイハウス	59 戸	52 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
37	Ⅵ － 11	株式会社ユーリックホーム	44 戸	45 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
36	Ⅵ － 12	井川設計工房株式会社	26 戸	20 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	○	
38	Ⅵ － 13	有限会社住宅建築研究所	10 戸	10 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
38	Ⅵ － 14	北米産業株式会社	3 戸	7 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
38	Ⅵ － 15	株式会社真建ホームズ	17 戸	12 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
38	Ⅵ － 16	株式会社マミーハウス	23 戸	20 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	○	
38	Ⅵ － 17	株式会社相中組	25 戸	19 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	戸	戸		
	Ⅵ _		戸	戸	戸	戸	戸	戸		

県番号	構成員番号	事業者名	平成26年（1月～12月）実績						補助金の活用実績
Ⅵ．施工-4（優良建築物）			元請の新築住宅供給戸数		うち木造の長期優良住宅		着工床面積		
			H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	H26年実績	直近3年平均	○
36	Ⅵ － 1	大利木材株式会社	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
36	Ⅵ － 3	鳳建設株式会社	23 戸	10 戸	1 戸	0 戸	㎡	㎡	
37	Ⅵ － 4	デザインリゾート株式会社	2 戸	1 戸	1 戸	0 戸	㎡	㎡	
38	Ⅵ － 5	株式会社トータルハウジングトップ	8 戸	5 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
23	Ⅵ － 6	大日本木材防腐株式会社	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
36	Ⅵ － 7	丸浦工業株式会社	24 戸	20 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
38	Ⅵ － 8	有限会社ヨゴホームズ	5 戸	4 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
37	Ⅵ － 9	株式会社ダイエイハウス	59 戸	52 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
37	Ⅵ － 11	株式会社ユーリックホーム	44 戸	45 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
36	Ⅵ － 12	井川設計工房株式会社	26 戸	20 戸	4 戸	2 戸	㎡	㎡	
38	Ⅵ － 13	有限会社住宅建築研究所	10 戸	10 戸	0 戸	1 戸	㎡	㎡	
38	Ⅵ － 14	北米産業株式会社	3 戸	7 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
38	Ⅵ － 15	株式会社真建ホームズ	17 戸	12 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	
38	Ⅵ － 16	株式会社マミーハウス	23 戸	20 戸	5 戸	4 戸	㎡	㎡	
38	Ⅵ － 17	株式会社相中組	25 戸	19 戸	1 戸	2 戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	
	Ⅵ －		戸	戸	戸	戸	㎡	㎡	

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 省エネルギー設備等の流通

＜様式 2-2･Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 省エネルギー設備等の流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅷ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ. 木材を扱わない流通						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅸ．Ⅰ～Ⅷ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

＜様式 2-2・Ⅸ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅸ．Ⅰ～Ⅷ以外の業種						
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					
	Ⅸ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ツーバイフォー四国の家	(地域型住宅供給対象地域) 四国地区
2．グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) グループ「ツーバイフォー四国の家」	(結成年) 2012 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	03-0292-0406	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅）の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成27年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	四国地区は巨大地震が周期的に発生してきたこともあり、枠組壁工法の特長である確実な耐震性能をもつ住宅を供給する。気候に関しては、瀬戸内側と太平洋側では降水量や台風の通過などかなり差があるが、高気密、高断熱など性能を上げることにより、どのような地域であろうと、長期間快適に生活できる建物を供給することを使命とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	夏は高温多湿で冬は乾燥している期間が多いが、山間部では積雪も多い地域もあり、結露が起こりやすいので、しっかりした結露対策をグループで話し合い、細かい部分にも手を抜かないシステム作りを構築する。また、雨が多い地域が多いので、建築中に建物をできるだけ濡らさない為にもプレカット構成員としっかり連携をとることで、工場加工の比率を高め、上棟までの現場作業を短縮する努力をする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	デザインに関しては、ユーザーがそれぞれ個性があるのでルールとして縛りはないが、長期間快適に過ごせる、そして環境への配慮を目標とする為には、構造のバランスが良くなければ達成できないので、そこには十分配慮する。	○
④ ①～③の背景	ツーバイフォー住宅は四国の気候・風土に十分適合しているが、正しい認識と知識がなければ、高気密・高断熱住宅は、在来軸組工法も同じで欠陥住宅になってしまう。グループで勉強会を度々開催し、皆で正しい施工知識を共有する事が、高品質な住宅を供給でき、社会に貢献できることに繋がっていく。また、エネルギーを節約することが、CO2排出・地球温暖化に歯止めをかけることに少しでも貢献し、またそれにより気候も穏やかもどることを願っている。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入	以前からの課題で、四国産地域材で枠組JAS製材品ができなかったが、この度のJAS法改正により商材としての現実味を帯びてきた。グループ内で非住宅ではあるが、昨年1棟建築して実績ができたが、コストの面でかなりの問題があり、まだ一般化するのは難しいが、JAS認定工場も候補者が囁かれだしたので、実現できるよう引き続きグループで取り組んでいく。	○

イ．効率的な住宅生産体制の整備

【平成27年度対応方針】			◎、○記入欄
a	①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	ツーバイフォー工法である為、木材、面材共にJAS規格品のみを使用する。	◎
	②建材・資材調達の共同化や事務の合理化	当グループが指定する地域材は既に流通が非常に簡素化されており、合理的であるといえるが、建材類はグループ構成員それぞれの仕入先やメーカーから購入しているので、メリットが出せるか検討する価値がある。また、建材メーカーなどの商品説明会を開催し、共同購入の値段交渉の場も設ける。	○
	③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	定期的に各グループ構成員に対し、合理化に向けた意見を収集し、意見の重要性に応じ都度、勉強会、意見交換会を各グループ構成員に働きかけ実施する。	○
	④生産の合理化等に向けた事務局の役割	勉強会や意見交換会を実施し、グループ構成員同士の交流の場を設け、そこでの意見をとりまとめ合理化をはかる役割を担う。新しい情報や意見などをグループ全体で共有するために、メールマガジンを定期的に発行する。	◎
b.	①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	施工基準書を共有し、その通りに施工ができているか写真管理をするシステム作りをする。	◎
	②グループの信頼性向上に向けた検査ルールの設定	基本的には自主工事検査とし、工事写真システムのデータはお施主様と施工者の双方が保管する。	◎
	③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	地域性、意匠など各構成員で仕様などが異なる部分があり、見積もり積算ルールとして取り決めは困難であるが、構造躯体など共通している部分は見積もり、積算のルール化を実施する。	○
	④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	地域型住宅グリーン化事業を取り組んでいる「ツーバイフォー四国の家」のグループ員であることをわかりやすく明示したトレードマークを構成員で共有化し、設計図面や見積書等にも表示する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入			

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞　　＜様式３－２＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ツーバイフォー四国の家	(地域型住宅供給対象地域) 四国地区
2．グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) グループ「ツーバイフォー四国の家」	(結成年) 2012 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	03-0292-0406	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成27年度対応方針】			◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の共通管理診断・点検方法の共通化	維持管理計画書と点検マニュアルを作成。	◎
	②メンテナンス・リフォーム基準の整備	メンテナンスの実施時期を点検マニュアルに盛り込み、施工者はこれを必ず履行する。	◎
	③住まいの管理・DIY相談会体験会などの実施	各グループ構成員の営業担当者が、建築後施主に個別訪問連絡し、点検マニュアルに基づきメンテナンスの相談、アドバイスを実施する。	○
	④グループ内における維持管理検討委員会等の設置	各グループ構成員より維持管理委員の担当者を1名ずつ任命し、管理検討委員会を設置する。各担当者の中から委員長を選出し、委員長は定期的に各委員を招集し委員会を開催する。委員会では、各構成員がマニュアル通り履行しているか否かを報告、検討する場とする。	○
b	①グループ構成員の倒産廃業時のバックアップ体制	グループ事務局内に「ツーバイフォー四国の家相談窓口」を設置し、連絡先を明記した「ツーバイフォー四国の家」認定証を発行する。グループ構成員が倒産廃業した時は、この認定証に記した相談窓口へ連絡してもらい、別の構成員が引き継ぐこととする。	◎
	②グループ独自の瑕疵担保ルールの整備	瑕疵が発生した場合の対応の手引きを作成し、住宅の引渡し時に「重要事項説明」として説明を義務付ける。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入			

エ．グループの技術力の向上

【平成27年度対応方針】			◎、○記入欄
a	①未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	経験工務店が講師として未経験工務店に対してセミナー形式の勉強会を行うことになっている。	◎
	② ①の研修会等の実施内容とその開催頻度	手続き方法や計算方法を説明し、初回の開催は採択決定直後を予定している。それ以後はグループ構成員の希望により柔軟に対応する。	◎
	③総合的な需給計画の策定等の中長期的な取組	当然ながら5年後の2020年までに、全ての新築住宅を長期優良住宅とすることを最低目標とし、認定低炭素住宅やゼロエネ住宅などにも難なく取り組めるグループになり、地域社会に貢献していきたい。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化への取組	設計とプレカット構成員は構造計算を簡単かつ適正に行えるような連携が必要で、もっと勉強していくことで無駄を省きコストダウンする方法に取り組む。また、工務店は建材メーカーなどと交流を深めることで、新しい知識や商品をいち早く導入し、より良い住環境を提案できるようにする。	○
b	①省エネ技術講習会への参加目標人数	グループ全体で30名を目標とする。	◎
	②省エネ技術講習会への参加促進のための取組	まだ受講していない構成員は、設計構成員は設計技術講習会を受講し、施工構成員は施工技術講習会を受講することを必須とする。プレカット・建材物流構成員も全体の意識向上と、生産物流の合理化の為にも参加を必須とし、各事業者の社員最低1名（グループ推奨は2名）の講習修了者を置く事とする。講習会の日時、会場など、各都道府県の講習会窓口に問い合わせて、事務局から全構成員に情報を提供する。	◎
c	①新たな技術等の導入や開発の検証のための方法	定期的な講習会を実施する時にあわせて、建材メーカーや開発者などを招き、説明会を実施する。	○
	②新たな技術等の導入や開発に向けた実証実験の実施等	四国産ツーバイフォー部材に関して、四国各地域の製材工場にJAS認定工場の取得を促し、最終目標としては主要構造材にオール四国産材を使えるように研究を続けていく。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		クロスラミナーティンバーの導入もグループの課題としているので、住宅部材としての可能性を追求していく。	○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞　　＜様式３－３＞

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）ツーバイフォー四国の家	（地域型住宅供給対象地域）四国地区
２．グループの名称・結成年月(必須)	（グループの名称）グループ「ツーバイフォー四国の家」	（結成年）2012 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	03-0292-0406	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成27年度対応方針】			◎、○記入欄
a	①地域材ごとの使用部位（必須）	縦枠、上下枠、床根太、端根太、頭つなぎ、土台の50%以上が合法木材	◎
	②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合（必須）	1棟あたりの使用量は、家の大きさによって異なるが、主要構造材の50%以上に地域材をしようしなければならない。	◎
	地域材利用に関する共通ルール（必須）	地域材は全て合法木材とし、第三者機関による認証制度の証明書を添付する。	◎
	地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	カナダ、アメリカの製材シッパー → 建材流通構成員かまたは直輸入のプレカット構成員 → プレカット構成員 → 施工構成員	
b	①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組	定期的にメールマガジンで通知する。	◎
	②グループ全体における地域材の需給予測	需給のバランスは、余程の事態がない限り問題なし。	◎
c	①-1 畳の活用		
	①-2 和瓦の活用		
	①-3 襖の活用		
	①-4 障子の活用		
	②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用		
d	①地域の伝統的なデザインを継承する取組		
	②地域の住まい方の継承につながる取組		
	③地域の街並み形成へ寄与する取組		
	④和の住まいの要素を取入れた取組		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		当グループは、和風建築にこだわるつもりはなく、顧客の理想とする住環境を提案、そして実現し、しかも長期的且つ高品質な家作りが、地域社会への貢献に繋がると信じている。四国は成熟し伐採期を向えた植林材の埋蔵量が多く、これを何とか新しい利用方法として、ツーバイフォーの構造部材として使えるようになれば、地域の林産業に大きく貢献できると信じ、開発に努力をしている。	◎

その他

【平成27年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組		

グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。

建物の断熱性能を上げて、太陽光発電の発電出力を小さくし、全棟気密検査を実地し建物の隙間相当面積（C値）を1．0㎠/㎡以下にします。外壁に通気層を、小屋裏には棟換気を設け外壁・小屋裏の一体的な通気を確保し、躯体外皮の排熱をうながします。各居室は2方向の開口を設け通風を確保します。

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。